

『彼女は』 作：ポチ子

『彼女は』 作..ポチ子

彼女は、

私より楽しんで生きてるくせに、

悲しみを書くのがうまい。

彼女は、

才能に恵まれてるくせに、

劣等感を歌にできる。

彼女は、

苦勞もしてないくせに、

私の辛さを言葉にできる。

『彼女は』 作：ポチ子

悲しいことに、

そんな彼女の言葉に感動して、

涙を流す。

私の気持ちなんて分かるはずない、

彼女の歌に騙されて、

わたしは泣く。

そんな歌を歌えるのは、

彼女が恵まれているからなのに。

私が泣くのは、

私が恵まれてないからなのに。